

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホーム菜の花上野幌館 1階 令和6年3月22日 札幌市提出

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケア理念の「らしさ活かして笑顔の花を咲かせます」のもと、職員は周知、共有し実践に繋がられるよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行し入居者様は慎重に感染対策を取りながらも花見など少しずつ地域に出られるようになった。地域への情報発信として『菜の花通信』を継続発行している	・コロナ5類に移行したが現状では精一杯の状況と思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行し6月より対面で運営推進会議が可能となる。直接情報発信や意見聴取を行うことができ意見の反映などが行いやすくなった。	・運営推進会議でスライドショーを楽しみにしている。継続をお願いしたい。生活の様子がスライドで見られてよかった。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域包括と直接運営推進会議を通じ意見交換が出来るようになり、協力関係の再構築に努めている。また札幌市介護保険課へは毎月入居状況の報告を行っている。	・この状況でつながりを求めるのは大変であり、職員はよくやってくれていると思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回、身体拘束等適正化委員会を開催し、委員会内容を職員カンファレンスで伝達研修を行い、禁止行為を理解し、「菜の花」は身体拘束を行わないことを確認している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・運営推進会議にて資料やスライドショーを見せてもらい、きちんと管理し接しており、この暮らし良いよと言っていた。 ・身体拘束を行わない(スピーチロックなどを含む)ための研修を定期的実施し運営推進会議で情報発信もしている為、出来ていると判断する。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束同様に3ヶ月に1回虐待防止検討委員会を開催。カンファレンスで伝達研修を行い、虐待が見過ごされることの無いよう虐待防止指針の遵守を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・玄関の施錠などされていないので拘束はされていないと判断する。 ・本人の面会時にいつも笑顔であり、悪い感情が無いのは表情を見ても明らか。協力し合っている為出来ていると伺える。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修で取り上げ学びに努めている。成年後見人制度活用されている入居者様が1階におり、今後において制度の理解と活用が図れるよう理解に努めていく。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は本社職員、管理者も同席し契約内容の説明や解約、改定等の説明を行っている。契約後の家族からの問い合わせや疑問点がある場合も対応を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人へはプラン作成時や日常会話の中で意見や要望などを聴取し、家族へは面会時やプラン作成時、運営推進会議、運営推進会議の事前アンケート、電話での近況報告などの機会に、意見要望の聞き取りを行い運営に反映させている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・計画など要望などの聞き取りがある他何かある時は連絡して頂いている。 ・運営推進会議出席のご家族の要望を聞く機会が設けられている。 ・外出について今後の在り方に対する意見があり、感染状況を鑑み検討していくと聞いている。 ・そのような意見を聞き検討をして頂いている為、出来ていると判断する。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者は運営計画策定の過程で管理者より職員の意見や提案を聴取している。管理者は個人面談やカンファレンス、個人目標設定時などに意見交換を行い反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者は新勤怠管理により管理者・職員個々の勤務状況を把握し働き方の助言をしている。また新人事評価制度により目標設定し向上心を持って働けるよう努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の評価に同意をする。出来ていると伺える。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者は職員個々の資格や経験を把握し、職員の力量に応じた研修の奨励をしている。またe-ラーニングを活用し働きながら学べる工夫をしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得に向けた研修受講等行っており、自己の評価に同意をする。出来ていると伺える。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響により管理者連絡会などの同業者との交流は復活していない。地域包括支援センターとは運営推進会議を通じ交流している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の家事活動やレク、月行事など職員と入居者様が準備から一緒に協働し役割分担を行うなど、関係性を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナが5類移行になり制限があるものの居室での面会が可能になる。限定的ではあるがなじみの場所への外出もできるようになる。管理者が中心になり面会や外出の対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時間が短く本人の最低限のチェックしかできずコミュニケーションを取る余裕がない。段階的に延長を検討してもらえればと思う。 ・面会の機会や時間、外出などの機会が増えると良い。 ・今後、食事やお墓参りなど家族と出掛けることが出来れば良いと思う。 		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で、本人の意向把握に努め、職員間で情報共有しケアに繋げている。また職員から上がる情報や入居者様の話を管理者も職員へフィードバックしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護職員や主治医、担当看護師、家族などの意見を参考に、アセスメントを行い課題を抽出した上で、現状に即した介護計画を作成している。プラン作成職員、管理者、ケアマネが中心になり実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時の短いやり取りでは急に考えがまとめられない書面で要望を取るやり方を検討してはどうか。 	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと報告されており、確認をしている為出来ていると判断する。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	申し送りや介護記録、ヒヤリハットなどで日々の情報共有を行っている。またカンファレンスでモニタリングを行い介護計画を評価し、ケアプラン見直しに活かしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい所まで良くやっていると思う為出来ていると判断する。 ・様子をしっかりと把握し記録されていると思う。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人や家族の状況変化に応じ介護用品などの代行購入や、家族対応が難しい外来受診の援助などニーズに合わせた柔軟な対応をしている。	・受診対応などその時々に合わせて行って頂きありがたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行してから、地域に出かけ、買い物をするなど本人能力の発揮や、暮らしを楽しむための支援をしている。管理者と2階職員の協力により実施。	・外食や買い物など外に出ていることを聞いている。スライドショーでの楽しそうな表情を見て嬉しさを感じる。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時にかかりつけ医の意向確認をし、訪問診療医を決め信頼関係を築きながら健康管理を行っている。変化に応じ医療関係者や家族との調整を行い適切な医療が受けられるよう努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は医師や看護師、相談員と情報交換を行い、家族の意向と合わせながら受け入れについて相談を行っている。早期退院に向けホームの受け入れ態勢も整えている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入院時の対応、通院往診の対応、報告を受けている。入退院についてもスムーズに行われていると思う為、出来ていると伺える。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居契約時に重度化指針、看取り指針の説明を行い同意を得ている。また年1回意向確認を行い状態変化がある場合は、看取り介護指針に則り家族と主治医を交え支援の方向性を決めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入居時の説明で理解している。 ・状況により説明を受け、主治医、管理者、家族と話し合いの機会を持つことが出来ている為、出来ていると評価する。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は救命救急講習を受講しており、ほかの研修でも緊急時における対応を確認し実践に繋がられるようになっている。緊急時フローチャートも掲示し確認出来るようにしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回以上の避難訓練を毎年実施している。コロナ5類移行後は消防団・消防設備業者も参加した訓練を再開した。	・今後も訓練を継続していくことが大事だと思う。 ・大きな災害があったとき家族は協力したほうが良いのか、様子を見に来てもよいのかと思う。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・避難訓練に良く取り組んでいると思う。 ・避難訓練の様子をスライドショーで運営推進会議で拝見した。入居者様も参加されしっかり行われている。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束等適正化委員会、虐待防止検討委員会や内部研修を通して全職員が学習や振り返りが出来る場を設け、不適切ケアにならないよう努めている。不適切な部分があれば事例をあげ改善に向け指導を行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・話しかけ方や言葉遣い対応の仕方は人格を尊重した丁寧なものだと思う。 ・職員の人柄も大きく、忙しい中にもこやかにされ印象が良い。 ・不適切な言葉遣いの例を示したり日々の業務での言葉かけを振り返る研修を設けている。 ・不適切なケアが起り続けられないような対策が行われていると感じる為出来ていると評価する。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様ペースの生活が十分でない状況もあった為、その反省に基づき優先業務の見直しやゆったり過ごせるための席替えなど意向に沿った工夫を行った。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様の個々の力を見極め、食事の下ごしらえや食器類の後片付けなど職員と一緒に食事に関わるようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活で料理や家事のお手伝いをしている。 ・楽しそうにしている所を目の当たりにしている為充分に出来ていると評価する。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様の嗜好などを参考に食事量や水分量が適正になるよう食事等を提供。また毎月の体重変化や6ヶ月に1回の口腔・栄養スクリーニングにより栄養状態等を確認している。特に一部入居者様の体重増加に注意し減量に努めた。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の力を見極めた上で出来ることを行って頂き、口腔内の清潔を保てるよう支援を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力に合わせ口腔ケアがされていると伺える為、出来ていると評価する。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄チェック表を利用し、排泄パターンを把握し、トイレの声かけや誘導を行っている。また排便状況を観察し下剤調整を行い、規則的な排泄が出来るよう努めている。排便状態を Bristol スケールによりはっきりさせた。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄の確認を行い、便の状態硬さなども含め把握していることが伺える為、出来ていると評価する。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	両ユニット共に入浴の曜日を決めずに、その日の状態に合わせて入浴できるよう入浴表を変更し業務改善をした。自立されている方も多いため、楽しんで入浴出来るように支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活の関わりを大切にしながら心配事や不安事の解消を図れるよう受容傾聴することで、安眠に繋がれるよう取り組んでいる。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬情の確認の徹底を行い、職員の捺印を持って共有している。薬担当職員を決め配置し、薬の効果や過不足を確認し状態報告が行うよう対応している。弊社担当看護師との連携により専門的な意見を頂き、服薬後の症状の変化等に注意を払っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入居する前は薬依存が強く不安だったが、しっかりと管理され落ち着いていることを確認している為、出来ていると判断する。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これまでに行ってきたことや得意なことなどを収集し、家事や趣味活動を継続ができ、自信が得られるよう支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・体操やパズルなど楽しそうにしている。また季節の装飾など皆で行っている光景は良い。 ・入居前はワンパターンの体操などしかしていなかった。決まったことしかしていなかった為現在は嬉しそうにしている。 ・コロナ前には行っていたと思うが外部から折り紙講師や楽器演奏のボランティアを呼ぶなど少しづつできるとよいと思う。いろいろな楽しみを継続して下さい。 		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍もあり外出の機会は十分でなかったが、好天時はホームの駐車場でティータイムや散歩、5 類後は外食や個別買い物レクに行くことが出来た。管理者が中心となり 2 階職員の応援も受けながら行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・外での食事の写真を見て本人も満足していると思います。 ・外でのティータイムなど外に出ることが行われている。継続して下さい。外に出る機会を増やし継続して下さい。 ・ティータイムの様子など楽しそうにしている。外に出て気分転換が大事。 		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍もあり、お金を所持し使うという機会を持てなかったが、5 類後は個別の買い物レクを行い回数は少ないが支援が出来た。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	要望に沿い、手紙のやり取りや電話をして頂くことでご家族と関わる事が出来るよう支援行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	行事や季節に合わせた掲示物を行うことで季節感を味わって頂くことが出来ている。またトイレに表示マーク、各居室ドアに大きく名前表示などわかりやすい工夫しており、自立した生活が出来るように工夫をしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的で明るい雰囲気が入居者の方が居心地良さそうな様子。各居室のネームプレートも楽しい。自分たちでやっているパズルや塗り絵の写真を見て楽しんでいる様子が良い。出来ていると評価する。 	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自己表現が難しい方には、傾聴の時間を設け、表情や言動から意向を把握し、意向に沿った支援が出来るように努めている。他の方にはプラン作成時などに直接意見を伺っている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前の生活歴などの情報収集を基に、入居後においてもご本人の意向に合わせ、これまでの習慣などが継続出来るよう支援に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月2回の訪問診療、週1回の担当看護師による健康チェックがあり、情報交換しながら、家族とも連携を図り安心した生活が送れるよう対応を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療等のおかげで本人も安心して いる。 ・体調が悪い際、薬の変更等都度連絡を頂いたり対応されている為、充分に出来ていると評価する。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の意思を大切に、ペースに合わせた支援が出来るよう、午後の時間を活用できるようにするなど、業務改善を行いながら取り組んでいる。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時などにご家族と相談し、使い慣れた馴染みの物や、思い出の品などを持つことが出来るよう支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時に居室の様子やなじみの物などを確認しており、持つことが出来るように支援が行われている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍において、5類になったものの不特定多数と密になる環境を避けるため外出の安全に注意している。外部の催事等に参加することは慎重になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状まだ積極的に外部の催しに参加出来る状況ではないと思う。安全第一に慎重に検討したほうが良い。 ・現状では今のペースでよい。無理をする必要はない。 		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月行事では職員と共に調理や工作を行い、各々の特徴や得手不得手など把握し、それに合わせて協働することで、役割や楽しみを感じられるよう支援に努めている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	気の合う入居者様同士で話しが出来るよう席移動したり、一緒に創作活動に取り組むなどの活動場面を提供したり、楽しみが出来るよう努めている。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・本人が話すことを職員が聞いて受け答えしてくれていることに満足している。誕生会やイベントの開催について報告も受けている為、出来ていると評価する。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍において外出を自粛していた為、ホーム内の職員や他入居者様との交流に留まっていたが、5類移行後は外食や買い物など密にならないよう場所や時間を慎重に選び限定的ながら交流することが出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では慎重に状況を確認しながら行い、少しずつ交流を進めた方が良い。現状まだその状況ではないと思う。 ・5類前には戻っていないが徐々に以前に戻りつつもある為今後に期待する。 	/	
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により外出や地域との交流、家族との面会など行うことが困難であったが、5類移行後は出来なかったことに、制限をつけながら慎重に復活させた。また一部コロナ感染もあったが、コロナクラスターの発生もなく、比較的安全な日々を送ることが出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナなどで職員の方は本当に大変だと思う。落ち着いて生活できているので良かった。 ・コロナ感染は残念に思いましたが元気に生活してほしいと思う。 ・5類移行後もコロナ再流行状況に応じて地域との交流や、外出行事実施の判断が難しいと感じる。 ・地域への外出機会を出来るだけ確保され入居者の心の健康につながれば良いと思う。 	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・コロナ 2 類時に出来なかったことを 5 類移行と共に少しずつ実施を行えていることもあり、出来ていると評価する。